

事例から自分たちができることを考えてみよう

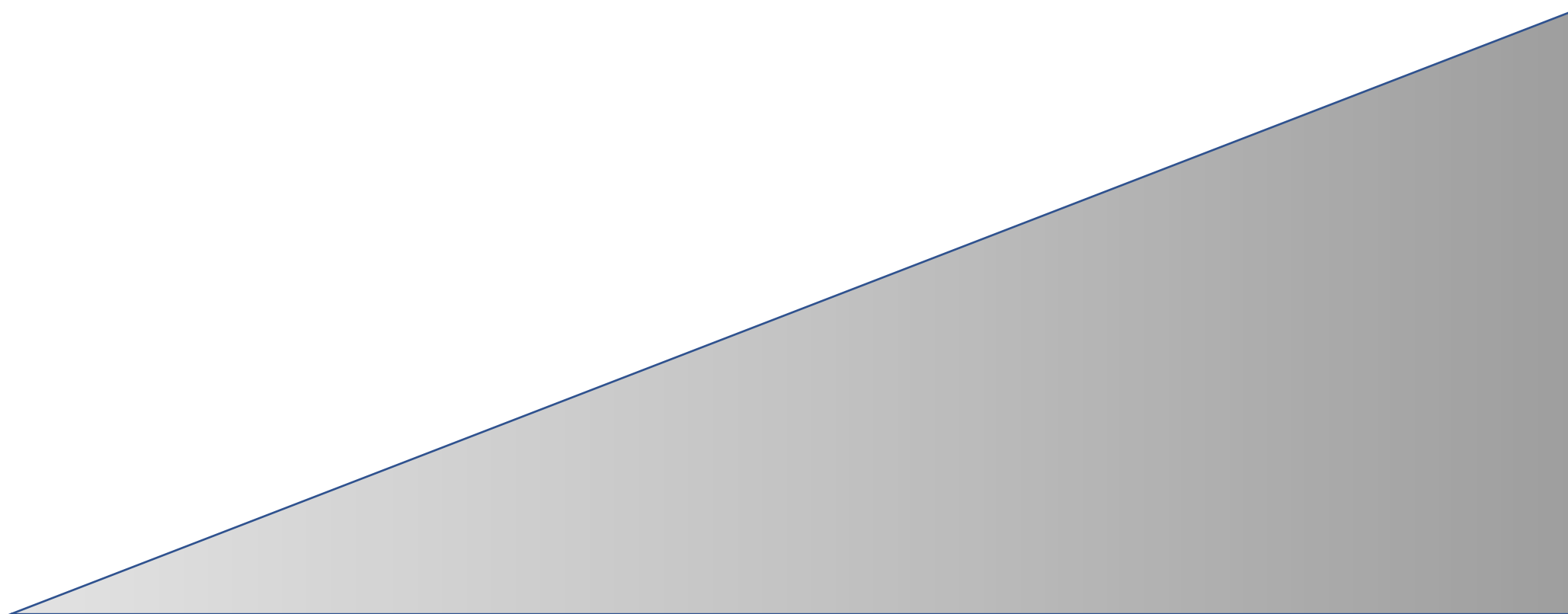
R4虐待防止研修

虐待の起きやすい環境

障害者福祉施設において虐待が発生する背景

1. 障害の特性に対する知識や理解の不足、
2. 障害者の人権に対する意識の欠如
3. 障害者福祉施設の閉鎖性
4. 施設内のコミュニケーションの不足

虐待の芽



例えば障害者の特性理解

特性ってなんだかわかっていない・・・。

皆さん説明できますか？

グループワーク①「特性を深める」

ステップ1

障害特性について支援者が深めるための方策を現在行っていることも含めて出し合ひましょう。

ステップ2

でた意見を「日常的に行えること」「企画や行事として行えること」に分類して更なるアイデアを出し合ひてみましょう。

ステップ3

グループの中でこの「アイデアはいける！」というものを2つ選びましょう

グループの発表

グループで出たイケてるアイデア 2つを発表ください

障害者の人権について

人権の説明できますか？

権利擁護の視点で小さな事例に取り組めるように。

グループワーク②

「権利意識を高めるワーク」

ステップ1

これって権利侵害かもという事例を一人5個書いてみよう

ステップ2

権利侵害かもという事例をみんなで共有しよう

ステップ3

事例を虐待の類型ごとに分類してみよう

グループの発表

- 1、どんな事例があったか
- 2、やってみての感想

障害者施設の閉鎖性

皆さんの施設で、支援の様子を第三者の人が見る機会ありますか？

困難事例があった場合に外部の方に助言得る仕組みがありますか？

グループワーク③

ステップ1

施設の閉鎖性を改善するために自事業所で取り組んでいることを共有しましょう。

ステップ2

やってみるとよさそうなアイデアを出し合ってみましょう

ステップ3

素敵な取り組み・アイデアを2つ選びましょう

グループの発表

グループですてきなアイデア2つを発表ください

施設内のコミュニケーションの不足

意識を共有しにくい・しやすい職場

- 余裕がない
- 支援がむずかしいということが言い訳になっている
- 職場全体で「だめ」という雰囲気がない
- 相談できる人がいない

→意識を共有しやすい職場

- 相談できる職場
- 指摘し合える職場
- 評価し合える職場
- 支え合える職場
- 上司が個々の考え方や価値観を受け止めてくれる職場

グループワーク④

ステップ1

「事業所内のコミュニケーション」「利用者・家族とのコミュニケーション」の二つの視点で、コミュニケーションとして行っている仕組み（ミーティング、報告書、マニュアルなど）を出し合ひしましょう。また、気を付けていることを出し合ひしましょう。

ステップ2

早期の気づきを得られ虐待防止につながっていそうな取り組みポイントをまとめてみましょう。

グループの発表

- 1、コミュニケーションのポイントは何だったのでしょうか？
- 2、具体的な取り組みはありましたか？

事例から考える

あなたの施設で、利用者Bさんはことあるごとに、スタッフのAさん呼びます。何度も呼ばれたスタッフAさんがBさんに対して、「意味もなく呼ばないで」「どうしてこんなことができないの」など発言がありました。こういったBさんとAさんのやり取りは日常的に何度もあり、その様子を見ていたスタッフCさんは、二人の間に入りBさんの介助をお手伝いしています。

手引きには心理的虐待にあたる事案です。

グループワーク⑤

事業所の仲間を守るために何ができるでしょうか？

あなたなら事業所で何を取り組みますか？

何をするといいでしょうか？

話し合ってみましょう。

グループの発表

実効性のあるものに

いつ

どこで

誰が

なにをする

